



ヤズド、朝の公園、イランの福祉機器

2017年は、ベヘジシティの全国担当者会議でイラン中部の都市ヤズドを訪れました。
ヤズドの会議では、福祉機器業者が展示を行っていました。
また、カラジ市では、市の宿泊施設に宿泊しましたが、周りが公園で、早朝、老若男女が、ウォーキング、体操をやっていました。夜には、お弁当を持ってピクニック気分。

ヤズド

ゾロアスター教の鳥葬が行われる「沈黙の塔」のあるヤズド。
また、風と水を利用したクーラー バードギール（風の塔）など
風の谷のナウシカを思わせるものでした。



ヤズドの街から、ほんの少し離れたところに鳥葬が行われた「沈黙の塔」がありました。



「沈黙の塔の頂上には、遺体が置かれるところがありました。
塔の麓には、休憩所とも思われるレンガの家があります。



「風の塔」のあるドラウト・アーバート庭園 会議参加者とともに



ヤズドの街は、アラビアンナイトの世界、粘土とレンガで造られた建物
美しいモスクがありました。



イランの福祉機器

ベヘジシティ全国担当者会議 業者展示



自助具 スプーン フォーク イランの食事では必ず使用します。



自助具

視覚補助具

聴覚補助具



街のみんなの公園

宿泊所の周りが公園でした。
朝の公園、夜の公園



朝の公園は、通勤前の会社員、高齢者、女性などウォーキングです
簡易バレーコートでは、草バレー。



夜の公園は、みんなでピクニック。お酒はありません。
公園内のスタンド。紅茶を一杯。





おしまい
